



安曇野市

農業委員会だより



爺ヶ岳の雪解けを待つ梨花【穂高有明】



豊作を予感させる麦秋【穂高柏原】



幸せを運ぶコウノトリ 安曇野に飛来【穂高牧】

農地パトロールを実施しています！

農業委員会は、地域内の全農地の利用状況を調査するため、農地パトロールを実施しています。調査のために調査員（農業委員等）が農地内に立ち入ることもありますので、ご理解とご協力のほどお願いします。

● 主な内容 ●

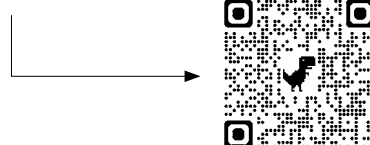
安曇野の風景	表紙
農業委員会研修に参加して	2・3
なかよし農園 パート1	4
地域の田んぼを次世代へつなぐ	5
農業者年金に加入しませんか？	6
補助金一覧	6
貸したい・売りたい農地情報	7
猛暑を乗り切る！夏野菜レシピ	8
編集後記	8

発行日／令和8年7月23日(木)

編集と発行／安曇野市農業委員会
安曇野市豊科6000番地
TEL／0263(71)2497

農業委員会事務局ホームページ

農地法関係の申請書、届出書のダウンロード
ができます。



安曇野市農業委員会研修に参加して

去る2月9・10日と農業委員会視察研修に参加しました。目的の地は千葉県東金市にある丸山製作所です。安曇野市農業委員、農地利用最適化推進委員、農業委員会事務局の合わせて20名を乗せたバスは安曇野インターから長野道、中央道、首都高速で都内。まだ2日前の大雪が日陰に残っている都内でした。レインボーブリッジを渡り、京葉道へ。東京ディズニーリゾートを右に見て、千葉市より東金道に入り最初の目的地「道の駅みのりの郷東金」に着いたのは安曇野市を出発して5時間半後の午前11時半頃でした。

ここで東金市について紹介します。我が安曇野市の友好都市となったのが2015年(平成27年)のことです。1995年(平成7年)に始まった旧堀金村との交流「あづみの探検隊(なつやま探検隊)」、平成24年1月の「災害時相互支援宣言」などを経て交流が発展。近年は議会や地区役員などの交流が行われ、みのりの郷東金と安曇野市の直売所において互いの物産の販売が行われるなど、絆が深まってきたことにより友好都市の締結が行われたとのこと。九十九里地域の中核都市である東金市は、東京都心まで約50km、千葉県のほぼ中央部に位置しています。人口は約6万人で温暖な気候に恵まれ、平野部は良質な田園地帯が太平洋に向かって広がり、西側の丘陵地は山武杉の森林に覆わ

れています。古くは江戸時代、徳川家康の鷹狩りのために「御成街道」が造られたことにより、この地に宿場町と近隣の農産物が集まる問屋町が形成されました。

以降、東金は物流の集散地としてにぎわうようになり、現在では、国道126号と千葉東金道路、圏央道(首都圏中央連絡自動車道)をつなぐ交通の要衝となっています。西は千葉市に隣接し、北に10kmほど行くと成田国際空港があります。

「道の駅みのりの郷東金」はレストラン、農産物等の直売所である東金マルシェ、植木が買える緑化木市場の3つの施設が併設されている施設で平成26年4月にオープンし、翌27年11月



東金マルシェの様子



東金マルシェで販売されている三郷サラダ市のリンゴ

に道の駅に登録されたとのこと。最初にレストランで食事をしてその後施設内を自由に見学しました。

東金マルシェの中は地元の農産物や加工品、海産物、土産物等品数や種類も豊富な産直市場です。その一角になんと安曇野市の品物が並べられているコーナーがあり、三郷サラダ市のリンゴや安曇野市内メーカー産のわさび、野沢菜、そばなどが置かれていました。担当者の方にお聞きすると平成26年開設当時より安曇野産の品物の取引をしており、三郷サラダ市のリンゴや市内メーカー産のトマトジュース、蕎麦など非常に好評とのこと。

特にリンゴの季節には「安曇野のリンゴを待っていた」というリピーターのお客様が多くいらっしゃるそうです。リンゴが旬の時期は、月に2〜3

回程度、1回に150〜200袋の頻度で入荷し、通年販売の加工品についても、在庫状況に合わせて随時補充をしているとのこと。安曇野の豊かな風土が育む品質の高さは、当地千葉県のお客様にも深く信頼されている」とおっしゃっていました。また、東金マルシェお勤めの商品ベスト5をお聞きすると、「朝どれ新鮮野菜、旬な果物（いちご、ぶどう、プラム）、富子のキムチ、みのりとうろくりん（敷地内の加工場製造）、東金産お米、落花生など」と答えていただきました。東金市にお出かけの機会がありましたら買い物の参考になさって下さい。

次に向かったのが東金市の南東部にある丸山製作所、今回の視察研修の一番の目的地です。丸山製作所は1895年（明治28年）創業で、農業用機械や環境衛生機械、消防機械などを製造販売するメーカーです。もともとは日本初の消火器を製造し、その技術を応用したポンプを発売させてきた会社です。

最初に会社概要の説明をお聞きした後、会社の歴史が刻まれている製品展示を見学しました。創業当時の消火器から動力ポンプや噴霧器、さらには刈払機や最新のドローンといった展示を興味深く拝見することができました。その後実際に製品が造られている工場へ向かいました。最初の工場は部品を造っている工場で、人の手による物やロボットによる物など小型から大型まで様々な部品が造られており、最後は塗装されて部品が完成されていました。次の工場はその部品を使って組み立てられている所で、果樹農家の皆さんにはおなじみのSSこと乗用



農業用最新ドローン



ハイクリアーム（消毒に使用）

のスピードスプレーや大型のハイクリアームなど1台1台人の手により部品が組み込まれ徐々に完成に近づいてゆく工程を見学しました。スピードスプレーヤを使われている方からは「農業機械が高価で納期に時間がかかることが分かった」「製造工程が人力であることは知らなかった」という声も聞かれました。

最後に実際に動かす場面を見学しました。まずはラジコン草刈機を動かしてもらいました。この時期草はないので実演は見られなかったのですが、動く様子を見ました。次はハイクリアーム、この機械は安曇野市でも水田、麦畑やタマネギ畑の消毒で見られる機会があります。左右に開いた十数メートルの腕から消毒液を散布する大型機械です。かなり広い敷地をあとという間に走行し噴霧する様子を見学できました。最後にドローンによる空中散布の実演を見学しました。画面上で飛行位置の設定をした後それに従っての飛行でしたが、これからはドローンの時代になると思ったという声も聞かれました。

今回の視察研修では、丸山製作所の工場見学を通して、農業用機械がどのように作られているのか普段見ることができない場面を実際にこの目で見ることで、貴重な経験となりました。また、東金市で安曇野産の農産物や加工品が販売されていることや、それが高く評価されていることを初めて知ることができ、安曇野市民として大変誇りに感じました。今後安曇野市と東金市の友好関係がさらに発展して欲しいと思います。千葉県に出かけた折には東金市に足を伸ばしてみたいかがでしょうか。

高山 万寿 委員

なかよし農園 パート1

私は女性農業委員として、活動させていただいております。以前から、女性ならではの活動として、地域の子供たちと一緒に野菜作りができないかと考えておりました。

そのため、仲間の女性農業委員の後押しを頂き、農業体験や「食」の大切さを支援したいと思い、「長野県農村生活マイスター」を取得しました。北は高山村、南は飯田市まで、県内各地から参加された私より若い女性の皆さんから、多くの刺激を受けました。

私は地域の方々との世代を超えたつながりを持ちたいという思いから、今年はじゃがいも作りに取り組み、秋には、飯盒炊飯を行い、収穫したじゃがいもでカレーを作って食べるというイベントを企画しました。

私が穂高に住むようになってから、地域の状況も随分と変わってきました。時代の流れやコロナ渦の影響もあり、慣れ親しんだ行事が廃止されたり、簡素化されたりして、人と人との繋がりが希薄になり、寂しさを感じています。

学校教育においても、私が小学生だった頃は、学校に田んぼがあり、米や野菜を育てていました。そして家庭科の授業では、自分たちで育てた作物を使って調理実習をしていました。現在は農業教育を行いたくても難しい状況に

じゃがいもの植えつけ(マルチ栽培)



なっているそうです。

さて、5月10日、穂高区本郷地区において「じゃがいも体験会」を行いました。この日は地区でカッコウの初鳴きを聞き、「きつといいことあるかな」と思いながら畑に向かいました。「みんな来てくれるかな」と心配していましたが、参加してくれた皆さんは長靴を履き身支度もバッチリ。ホッとして、とても嬉しくなりました。

今回は、2歳、4歳のご姉妹家族を始め、16名の皆さんにご参加いただき、じゃがいもの植え付けを行いました。最初に小学生向けのクイズ



じゃがいもの植えつけ(露地栽培)

を10問出しました。「じゃがいもは、どこの国から日本に來たでしょう?」「じゃがいもの仲間の野菜はどれでしょう?」など大人の方にも難しい問題だったようです。

その後、じゃがいもの植え付け方法を説明しました。ひとつは、マルチ栽培で、土全体に肥料をすき込む方法。もうひとつは、種芋の間に肥料を置き、マルチを使わず土寄せをしながら育てる方法です。皆さん真剣に取り組んでくださり、あっという間に植え付けが完了しました。小学5年生の乃暖花さんは「クイズが少し難しかったけれど楽しかったです。自分の植えたじゃがいもがどれだけとれるかなあ」と笑顔で話してくれました。

今後は、夏休み中の収穫や秋には飯盒炊飯で新米を炊き、カレーを食べる収穫祭を予定しています。今からとても楽しみです。まずは土に触れ、自分が育てたじゃがいもを収穫する喜びを感じてもらえたらと思っています。

参加してくださった皆さん、本当にありがとうございます。パート2で収穫や飯盒炊飯の様子などをお届けします。

平林 明美 委員



じゃがいもクイズの様子

地域の田んぼを 次世代へつなぐ

一般社団法人 上押野営農組合

代表理事 請地 康仁さん



畦草刈りの確認をする組合員

Q 地域の農業の現状と法人設立の経過について教えてください。

A 私たちの上押野地区は明科地域の西に流れる高瀬川沿いにあり、北側は池田町と接しています。約72haの水田が広がり、水源も豊富です。昭和58年の県営圃場整備事業の完了後は1区画あたりの水田面積が30～50aと明科地域のなかでも良好な稲作地帯として、多くの農家の皆さんにより農業が営まれてきました。当時は畜産農家が点在していたことから、稲作と畜産業の連携による循環型農業も行われていました。しかし、近年では農業者の高齢化と担い手不足が進み、稲作を専門とする一部の大規模営農者や他地域の基幹的耕作者に、この地域の農業を頼らざるを得ない状況になってきました。何処でも同じだと思いますが、条件の良い圃場は今後も耕作が続きますが、小さな圃場、水利など条件の悪い農地は不耕作や荒廃が進み、獣害や環境悪化など環境問題が懸念されます。そこで有志とともに「上押野地域の農業を考える会」を設立し、地域の水田を守り次世代につなぐための勉強会や意見交換を始めました。

農村の環境を守ったり良くしたりするには、農業者が営農を継続していくことだけでは限界があります。地域全体が自分ごととして取り組むことが大切だと思います。そのために農地を集積し営農活動を通じてしっかりとした土台のもとに農村環境の課題に取り組むための中心となる組織をつくり、できれば住民のみんなで協力しながら計画的に課題を解決していく必要があります。「一般社団法人上押野営農組合」は、こうした目的で設立されました。

Q 法人化についてももう少し詳しく教えてください

A 私たちの目指すべきところは、第一に地域の水田を地域ぐるみで守り育てていくことです。しかし活動のすべてを営農に特化することなく、いずれは地域の自然を含む生活環境との調和も図りながら後世に引き継ぎたい。との願いがあります。そこで一般的な農業法人ではなく、非農家も参加できて地域コミュニケーション活動など公益性の高い事業目的にも向いている「一般社団法人」を選択しました。

Q 今後の方針について教えてください。

A 今年3月の設立総会時に法人として集約した水田面積は約15haで、組合への参加申込者は約30名となっていますが「ようやくスタートラインに立てた」というところです。

まずは農地中間管理事業等を活用して農地の集約を図りながら、草刈りなどを会員の有志が協働で行うことで農業の担い手を支援し、稲作をはじめ他作物の導入も視野に地域の農地をみんなで守り、次の世代に残していくことを目標にしたいと思っています。

そのためにも地域内の他の耕作者の皆さんとも協調しながら、より多くの方にご理解をいただき会員となつて組合の運営や、様々な共同作業にも積極的に参加協力をお願いしたいと思います。

今後さらに加速することが予測される人口減少や押し寄せる高齢化の波の中で地域住民自らが主体となり、時には外部の人材や組織からの協力を得て農地の維持継続を図りながら次世代へ良好な地域環境をと引き継いでいくことが最も難しく大事なことだと考えています。

堀内 伸一 委員

農業者年金は 農業者の老後の安心を支える制度です。

農業者年金ってどんな制度？

- 年間 60 日以上農業に従事する **20 歳以上～60 歳未満**の方は加入できます。(国民年金第1号被保険者)
- 終身年金で**一生涯をサポート**。80 歳前に亡くなられても遺族に**死亡一時金**が支給されます。
- 月額保険料は 2 万円から 6 万 7 千円まで千円単位で**自由に選択**ができ、経営状況に合わせて保険料額の見直しも可能です。
- 充実した税制優遇措置もあり、支払った保険料は全額**社会保険料控除の対象**になります。
また、受け取る年金も公的年金等控除の対象となり、死亡一時金も非課税となります。



詳しくは、安曇野市役所 2F【安曇野市農業委員会事務局】電話0263-71-2497 へ。
JA あづみ・松本ハイランド各支所で申し込みできます。



農業関係の補助事業等を行っています

安曇野市では、農業者等に対し様々な支援事業・補助事業等を実施しています。
各支援事業についての詳細は安曇野市ホームページでご確認ください。

令和8年度安曇野市農業関係助成一覧



1. 新規就農に関する支援（住居費支援・営農支援 等）
TEL：0263-71-2429（農政課 農村振興担当）
2. 農地管理に関する支援（荒廃農地解消・防護柵等購入費補助 等）
TEL：0263-71-2429（農政課 農村振興担当），0263-71-2432（耕地林務課 林務担当）
3. 施設・機械整備に関する支援（導入費補助 等）
TEL：0263-71-2429（農政課 農村振興担当），0263-71-2428（農政課 生産振興担当）
4. 作付支援（苗木購入費補助 等）
TEL：0263-71-2428（農政課 生産振興担当）
5. その他（販路拡大支援 等）
TEL：0263-71-2427 0263-71-2430（農政課 農業政策担当），
0263-71-2428（農政課 生産振興担当），0263-71-2429（農政課 農村振興担当）

※ 一覧に記載のある補助金額は目安です。予算や申請者数により変動がありますのでご了承ください。
※ 補助事業は、原則として事業実施前の事前申請が必要ですのでご注意ください。
※ 補助事業ごとに要件がございます。詳しくは関係各課へご相談ください。

貸したい・売りたい農地情報

農業委員会では、農地の利用促進と遊休農地の解消を図るため、農地の貸借や売買希望の農地の情報を公開しています。お気軽にお問い合わせください。

なお、ここで紹介する情報は農地としての活用目的に限定されています。

最新情報は安曇野市ホームページでご確認ください。

【令和7年11月1日から令和8年5月31日受付分】



地区	地番	面積(㎡)	地目	売渡希望	貸付希望	地区	地番	面積(㎡)	地目	売渡希望	貸付希望
豊科	3207-1	2125	田	○		穂高牧	962-1	1648	田	○	
豊科	3207-2	1077	田	○		穂高牧	973-1	450	畑	○	
豊科	5153	2691	田	○		穂高牧	1354	3544	畑	○	
豊科高家	92-1	168	田	○		穂高牧	1668	1584	畑	○	○
豊科高家	94-1	573	田	○		穂高牧	1679-2	2342	畑	○	○
豊科高家	2057-1	2793	田	○		穂高牧	1870-3	1104	畑	○	
豊科高家	2055	2748	田	○		穂高牧	1870-4	878	畑	○	
豊科高家	2332-2	352	畑	○	○	三郷小倉	2563	527	畑		○
豊科高家	3029-2	58	畑	○	○	三郷小倉	2714-2	746	畑	○	
豊科高家	3043-2	209	畑	○	○	三郷小倉	3724	666	畑	○	
豊科田沢	4765-1	379	畑	○		三郷小倉	3725	380	畑	○	
豊科田沢	5640	414	田	○		三郷小倉	3766	1334	畑	○	
豊科田沢	5644	908	田	○		三郷小倉	3810	577	畑		○
豊科田沢	5722-1	245	田	○		三郷小倉	3816	613	畑	○	
豊科田沢	5722-2	130	田	○		三郷小倉	4154	629	畑	○	
豊科田沢	5725	1030	田	○		三郷小倉	4442	858	畑	○	○
豊科田沢	5825	760	田	○		三郷小倉	4830-1	3830	畑		○
豊科田沢	7294-306	826	畑	○		三郷小倉	5043-1	3187	畑	○	
豊科光	8867	655.37	田	○		三郷明盛	2735-1	2502	田	○	
豊科南穂高	5766-8	439	田	○		三郷明盛	3421-1	1211	田	○	
穂高	326	1209	田		○	三郷明盛	4091-2	365	田	○	
穂高	372	1034	田	○	○	三郷温	134-1	2005	田	○	
穂高	375-1	1481	田	○	○	三郷温	134-3	1997	田	○	
穂高	1976-2	353	田	○		三郷温	134-4	1919	田	○	
穂高	2053	909	田	○		三郷温	143-2	53	畑	○	○
穂高	2341	1492	田	○		三郷温	1024-1	2335	畑	○	
穂高	4460-1	1527	田	○		三郷温	1159-2	577	畑	○	
穂高	4462-2	158	山林	○		三郷温	1211	555	畑	○	
穂高	4738-1	811	田	○		三郷温	1276	606	畑	○	
穂高	4738-5	155	田	○		三郷温	6019	286	畑	○	
穂高	4744-2	1207	田	○		三郷温	6465	2078	畑	○	
穂高	5227-7	1066	畑		○	三郷温	6715-1	1049	畑	○	
穂高	5569-5	403	田		○	三郷温	7035-1	2073	田		○
穂高	8218-2	936	田	○	○	三郷温	7177-1	2607	田		○
穂高有明	451-5	1910	田	○	○	三郷温	7194-2	53	田		○
穂高有明	1037-1	573	田		○	堀金烏川	2060-6	684	田	○	○
穂高有明	2702-3	1724	田	○		堀金烏川	2092-1	753	田	○	
穂高有明	2719-5	210	田		○	堀金烏川	2391	714	畑		○
穂高有明	3065-1	784	畑	○	○	堀金烏川	2395	1158	畑		○
穂高有明	9208	976	田	○	○	堀金烏川	2686	2989	田	○	
穂高有明	10267-1	1130	田	○	○	堀金三田	137-1	2923	田		○
穂高有明	10268-1	967	田	○	○	堀金三田	1069	1308	畑	○	
穂高柏原	3691-3	130	畑	○		堀金三田	1400-4	1249	田	○	○
穂高柏原	4552-5	1134	田	○		明科中川手	988-1	759	田		○
穂高柏原	4574-2	823	畑	○		明科中川手	989-3	147	田		○
穂高柏原	4575-1	1924	畑	○		明科中川手	989-4	98	田		○
穂高柏原	4617	2000	畑	○		明科中川手	2022-1	1171.85	田	○	○
穂高柏原	4725-2	942	田	○		明科中川手	2023-2	1136.7	田	○	○
穂高柏原	4725-3	177	田	○		明科光	851-2	248	田	○	○
穂高柏原	4726-1	1320	田	○		明科光	852-1	361	田	○	○
穂高牧	64-1	1337	畑	○		明科光	852-2	378	田	○	○
穂高牧	93	733	畑	○		明科光	856-1	283	田	○	○
穂高牧	94	843	畑	○		明科光	4571-3	2331.75	田	○	
穂高牧	275	746	田	○		明科七貴	4621-10	332	田	○	○
穂高牧	302	2115	田	○		明科七貴	9515-2	847	田	○	
穂高牧	303	1486	田	○		明科七貴	5699-3	1454	田		○
穂高牧	366	2354	田	○		明科七貴	5699-16	103	田		○
穂高牧	367	2461	田	○		明科七貴	5699-17	3.29	田		○
穂高牧	368	2287	田	○		明科七貴	5699-19	869	田		○
穂高牧	383	1947	田	○		明科七貴	5946-1	978	田		○
穂高牧	940	401	畑	○		明科七貴	5946-10	203	田		○
穂高牧	961-1	1042	田	○		明科七貴	8043-1	1577	田	○	○

安曇野市農業委員会事務局 TEL 0263-71-2497 (直通)

kitchen moku presents

猛暑を乗り切る！夏野菜レシピ

家庭菜園で沢山とれる旬野菜をたっぷり使ったレシピをご紹介します

夏野菜のカポナータ風万能マリネ



ミニトマト200g（25個位）
きゅうり1本
玉ねぎ1/2個
黄パプリカ1/2個
ピーマン2個
なす大きめ1本
にんにく1片
オリーブ油大さじ2
塩 適宜

《漬け地》
だし汁1カップ
みりん50cc
酢50cc
薄口醤油50cc
砂糖大さじ1
お好みのハーブ
バジル、ディルなど

1. ミニトマトは半分に切る。他の野菜は全て1cm程の大きさに揃えて切る。にんにくは皮を剥き包丁の腹でつぶす。
2. フライパンにオリーブ油とにんにくを熱し、香りが出てきた所で茄子、塩をひとつまみ振り強めの中火で焼く。全体に油がまわり少し焼き色がつく位までじっくりと焼く。
3. パプリカ、ピーマン、玉ねぎを加え、また塩をひとつまみ振る。色味を損なわないように1分程炒める。完全に火が通らなくてOK。
4. 最後にミニトマト、きゅうりを加え、また塩をひとつまみ振る。強火で1分程炒め、バットなどにあげ粗熱をとる。全体に油と塩気が回れば良いので、最後火を通しすぎないのがコツ。
5. 漬け地を作る。鍋にだし汁、味噌を沸かし、他の材料をすべて加え良く混ぜる。炒めた野菜を入れ（温かくてもOK）、お好みのハーブをちぎって加え、粗熱が取る。清潔な密閉容器に入れ冷蔵庫で保管。

冷蔵庫で1週間ほど保存可能。盛り付けは必ず清潔なスプーンを使って。一度に沢山作っておけば、色んな食材と組み合わせても楽しめます。使う野菜は全種類揃ってなくても変えても大丈夫。ゴーヤ、オクラ、ズッキーニ、枝豆や、ハーブ類を紫蘇や茗荷に変えて和風にしても美味しくいただけます。

漬かりが浅い当日はそのまま食べて。
その後は冷奴のタレ代わりに使ったりそうめん出汁に入れたり、
パスタ、グリルチキンや冷しゃぶのソース、
カレーの味変トッピングとしても使え、何にでも合います。

弁当屋をやっています ～kitchen moku～ 活動詳細についてはInstagramにて



2024年、千葉から安曇野へ移住してきました。移住前に訪れた信州の空気や水の美味しさに惹かれ、「こんな美味しい水が流れている土地で野菜を作ったら絶対美味しいものができるはず！」というアイデアと勢いだけで地元千葉にある野菜農家へ弟子入り。約1年間で野菜作りのノウハウを学んでから元料理人のスキルを活かし完全予約制の弁当屋を開業。野菜作りを始めて気づいた事は「農ある暮らし」は思った程ハードルが高くないという事。もし、目の前に野菜を植えられる環境があるならぜひ苗でも植えてみて欲しいです。自分で作った野菜を収穫した時の喜びはひとしおですし、日本のスーパーで年中当たり前のように野菜達が並んでいる事がどれだけ凄いなのか、生産者さんへの感謝の気持ちも増してくると思います。

活動詳細についてはInstagram「kitchen_moku」（アンダーバー2個続き）で検索。



編集後記

田植えが始まり、安曇野の自然が一段と輝きを放つ季節を迎えました。同時に、草刈・草取りの季節の到来となりました。

今日では、除草剤や除草機の使用により、草刈・草取り作業は大幅に軽減されました。一方、除草剤が効かない草もあり、在来種が減少し、生態系を壊す外来種が目立つようになってきました。田畑の周辺で見られたミミズ・イナゴ・バッタ・クモ等虫の姿が見かけなくなりました。

先日、畑の草取りをしました。草の名前や根の張り方・花や実の特徴、虫や昆虫類の名前（害虫も含む）を思い出しながらの草取り作業に時間を忘れ、夢中になりました。美しくなった畑を眺めると、心地よさに疲れを忘れました。

令和七年度の重機での再生作業が必要な耕作放棄農地面積は市内で約20.07haあります。

農業の果たす多面的機能の維持向上のためにも遊休農地の発生防止と解消の重要性を改めて実感した一日でした。

【農業委員会だより編集委員会】

文責 細萱 美嗣

編集委員長 中野 隆洋

委員 渡辺 由枝

細萱 美嗣

平林 明美

加島 美智代

高山 万寿

望月 慎二

堀内 伸一

